

(仮称) 千代田 P A スマート I C 地区協議会

設立趣意書

かすみがうら市は平成 17 年 3 月に旧霞ヶ浦町と旧千代田町が合併して新たな市として誕生しました。かすみがうら市は茨城県の南部に位置し、筑波山系と我が国第 2 位の湖面面積を誇る霞ヶ浦に挟まれ、地域の西側は土浦市に接し、東側は石岡市に接しております。

首都東京へ約 70km、県都水戸市へ約 30km、筑波研究学園都市へ約 10km の距離に位置し、幹線交通網として J R 常磐線、常磐自動車道千代田石岡 IC や国道 6 号を有するなど、立地条件に恵まれています。

本スマートインターチェンジの設置は、周辺地域と高速道路とのアクセス性・利便性等の向上により、物流の効率化、観光施設へのアクセス向上、高速道路の利便性向上と周辺渋滞の緩和、災害時の避難路・輸送路の機能強化と救急医療の支援等に寄与するものと期待しております。

かすみがうら市では、立地環境や豊富な自然、地域資源を生かした活力あるまちづくりの実現に向け、スマートインターチェンジの設置による、地域産業の活性化や雇用機会の創出等、周辺地域への波及にも大きく期待しているところです。

このため、国土交通省、茨城県、茨城県警察本部、東日本高速道路株式会社及びかすみがうら市が連携して、スマートインターチェンジの設置に向け必要な検討、調整を行い、供用後も継続して社会便益、安全性、利用交通量、管理、運営形態、利用促進方策を定期的にフォローアップし、必要に応じて見直す場として「(仮称) 千代田 P A スマートインターチェンジ地区協議会」を設置するものです。

令和 4 年 8 月 2 9 日

かすみがうら市長 宮嶋 謙